

「アイドル」という言葉・再考

文学研究科国文学専攻博士前期課程二年 飯干 佳亮

現在、テレビやインターネットなどで「アイドル」という言葉を見かけない日は無い。また、アイドル研究を取り扱った書籍や論文も毎月のように発表されており、「アイドル」に対する注目は非常に高くなっている。しかし、既存のアイドル研究においては、現象やアイドル本人についての分析が主になっており、「アイドル」という言葉自体は取り扱ってこられなかった。そこで、本発表では曖昧なものとして使われてきた「アイドル」という言葉の再考、再定義を行うことを目的とし、分析を行っていく。今回は特に「アイドル」という言葉が登場した六〇年代、七〇年代に刊行された雑誌に分析の対象を絞り、「アイドル」登場前の芸能文化のメインであった「スター」の時代から「アイドル」の時代への変遷を追っていく。